

都市再生への効果と評価について

都市再生への効果と評価のイメージ

- ・ 選ばれる都市の実現に向けて、「働く」、「学ぶ」、「楽しむ」都市活動が生まれる提案については、特に評価する。
- ・ 上記に加え、「交通」、「緑・景観」、「防災・環境」、「協働」への配慮がなされ、都市の魅力を高めるものについても内容に応じて評価する。
- ・ 1項目だけではなく、各項目間の相乗効果により、多様な都市活動がより多く創出されるものほど、評価は高くなる。
- ・ ただし、事業者の創意工夫により、その他の都市活動を生み出すもので、都市再生の効果が高い提案については、これにこだわらない。

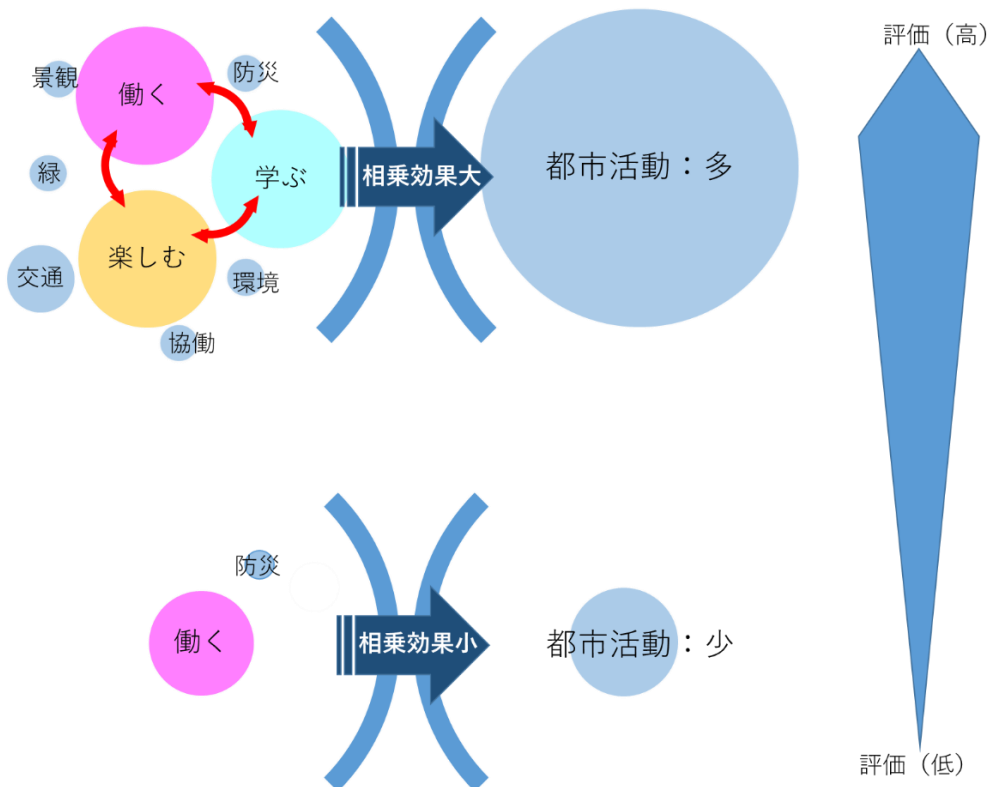


図 都市貢献と容積割増のイメージ

「働く、学ぶ、楽しむ」を特に評価することについて

本市では、「仙台市都市計画マスタープラン～都市計画に関する基本的な方針 2021～2030～」において、「選ばれる都市へ挑戦し続ける新たな杜の都」を都市づくりの目標に掲げ、「働く場所」として選ばれる都市、「学ぶ・楽しむ場所」として選ばれる都市、「暮らす場所」として選ばれる都市の実現を掲げている。

都市再生緊急整備地域内においては、特に「働く場所」、「学ぶ・楽しむ場所」としての質を高め、相乗効果を生み出す、都市再生の効果に期待しており、これらの都市活動が創出されるものを特に評価する。

選ばれる都市の実現に向けて

都市づくりは、日常生活における活動から生まれる身近なものであり、働く、学ぶ・楽しむ、暮らすといった一人ひとりの活動が掛け合わさり、いずれは大きな都市づくりへと繋がっていきます。

市街地が量的には一定程度充足してきている本市では、これまで以上に市街地を「つかう」という視点を持ち、魅力や活力あふれる都市活動が展開される持続可能で多様性に富んだ都市づくりにも積極的に取り組みながら、各々の活動の舞台となる働く場所、学ぶ・楽しむ場所、暮らす場所としての質を高め、相乗効果を生み出すことにより、選ばれる都市の実現を目指します。

(仙台市都市計画マスタープラン 抜粋)